



デイリージーザスニュース #052

イエスのガリラヤにおける偉大な宣教

イエスはガリラヤで宣教を始める

イエスはカペナウムに本部を構える

マタイ4.13-16

=====

13 イエスはナザレを去って、ゼブルンとナフタリの地方の湖畔にあるカペナウムに行き、そこに住んだ。14 預言者イザヤを通して言われたことを成就するためです。

15 「ゼブルンの地とナフタリの地、ヨルダン川の向こうの海沿いの道、
「異邦人のガリラヤ」 –
暗闇の中で暮らす人々は大きな光を見ました。

16 死の影に生きる者たちに光が差し始めた。」（イザヤ書 9. 1-2）

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルーク = L、ジョン = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、**赤い斜体はイエスの言葉を示します。**

コンテキストダイジェスト

位置	ガリラヤのカペナウム
時間	イエスが31歳の8月（8月）
の生涯の段階	第4段階：ガリラヤでの偉大な宣教
第10章	イエスはガリラヤで宣教を始める
セクション #052	イエスはカペナウムに本部を構える

ナザレの人々から拒絶されたことで、イエスはガリラヤでの宣教活動の拠点をカペナウムの町に設けるという決意を固めました。イエスはナザレからカペナウムに直行し、そこに活動拠点を設けました。マタイが言うように、**「イエスはカペナウムに住んだ」のです。**イエスはガリラヤへの3回の大旅行の際、カペナウムを出発し、各旅行の途中でカペナウムに短時間立ち寄り、旅行の終わりにそこに戻りました。イエスの最も重要な教えの多くは、この町またはその近くで行われました。カペナウムの何がそれほど戦略的だったのでしょうか。

イエスは、そこに弟子たちのネットワークが芽生えていること、そして、ペテロとアンデレの兄弟、そして「ゼベダイの子」であるヤコブとヨハネなど、働きかける家がいくつかあることを知っていました。イエスは、この4人をフルタイムで従うよう呼びかける計画を持ってカペナウムに移動しました。

2組の兄弟は既に友人同士で、ガリラヤ湖で漁業を営んでいました。そのうちの3人、ペテロ、ヤコブ、ヨハネはイエスの最も親しい仲間となり、イエスは弟子訓練に最も多くの時間を費やしました。さらに、ヤコブとヨハネは裕福な家庭の出身で、家業で労働者を雇うだけの資金がありました。カペナウムを中心とした人間関係とコミュニケーションのつながりは、宣教活動に理想的な場所でした。

さらに、カペナウムは戦略的な位置にあり、北、西、南西のガリラヤ全域、さらに北のシリアやフェニキアへのアクセスに優れていました。国際貿易ルートがカペナウムを通っていました。ガリラヤ湖の主要漁港の一つとして、カペナウムは貿易によってこの地域のすべての小さな町や村とつながっていました。そこで起こったことはすべて、地域全体に知られていました。カペナウムにはガリラヤ最大のシナゴグの一つもあり、イエスはそこで何時間も重要な説教、教え、癒しを行われました。

イエスが宣教の拠点としてカペナウムを選んだのは、ガリラヤ全土で最も有能で効率的な場所を賢明に選んだからだと分かります。イエスは決して間違いをしませんでした。さらにマタイは、イエスが宣教の拠点をガリラヤのカペナウムに置いたのは聖書の教えを成就するためだったと指摘しています。

イエスは、その生涯がすでに聖書に記されており、父の計画に従っていたため、そこで奉仕するという強い召命を感じていました。そこはユダヤ人と異邦人が混在する**「死の影に生きる暗黒の地」**でした。イエスは後にこう言いました。**「医者が必要とするのは健康な人ではなく、病人である。」**

イエスは全世界の光となるために来られました。パレスチナ地方でその光となり、神の無条件の愛と無償の恵みを明らかにするのに最適な場所は、罪に苦しみ、困窮し、軽蔑されていたガリラヤ地方でした。カペナウムはガリラヤ全土でイエスの宣教の拠点として最適な場所でした。

応用：

イエスがガリラヤで宣教することを選んだので、世界中のすべての人は、たとえ私たちがイエスからどれほど遠く離れていても、私たちがいる場所にイエスが宣教してくださると確信できます。

イエスはすでに私たちの世界に入り、それを完全に理解しています。イエスは、私たちが今いる場所に、ありのままの私たちに、神の王国の永遠の光、愛、命を与えてくださいます。8月に神の王国が大いなる力とともに私たちの心に到来するとき、イエスはすべてのものを新しくすることをご存じです。

イエスはあなたの心の中にその本部を置いていますか？

彼の計画は、私たち一人一人を戦略的な拠点として利用し、私たちの周りの暗闇の中に彼の王国を広げることです。

今日は、主はあなたを召使としてどのように使いたいとお考えでしょうか？